

資料 1

2022 年度事業計画

自令和4年 4月 1日 至令和5年 3月31日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」について、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第38回大平正芳記念賞 6件に対しクリスタル牌と
賞金 550万円

- ① 五十嵐 隆幸 氏 (防衛大学校防衛学教育学群准教授)
『大陸反攻と台湾－中華民国による統一の構想と挫折』
名古屋大学出版会 2021年
- ② 石原 真衣 氏 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)
『〈沈黙〉の自伝的民族誌 (オートエスノグラフィー)－サイレント・
アイヌの痛みと救済の物語』
北海道大学出版会 2020年
- ③ 倉田 徹 氏 (立教大学法学部政治学科教授)
『香港政治危機－圧力と抵抗の2010年代』
東京大学出版会 2021年
- ④ 下條 尚志 氏 (神戸大学大学院国際文化学研究科准教授)
『国家の「余白」－メコンデルタ 生き残りの社会史』
京都大学学術出版会 2021年

- ⑤ 南川 文里 氏（立命館大学国際関係学部教授）
『未完の多文化主義—アメリカにおける人種・国家・多様性』
東京大学出版会 2021年

特別賞

- ⑥ 木宮 正史 氏（東京大学大学院総合文化研究科教授）
『日韓関係史』
岩波新書 2020年

- (2) 第36回学術研究助成費 1件に対しクリスタル牌と
賞金 60万円

- ① 李 貞善 氏
（東京大学大学院人文社会系研究科・文化資源学研究室博士課程）
『記憶の場としての国連記念公園—戦争墓地の文化遺産化』

- (3) 岩手大学大学院奨学金 応募者無し

2 北京日本学研究中心との共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

- (1) 第18回「日本語優秀学位論文大会」の開催
※6月20日前後（卒業式に合わせ）に表彰式を行う。

- (2) 日本語名著翻訳事業 候補作検討中

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

- (1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。
① 大平正芳記念館の運営のサポート
- (2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団
レポート」発行と無償配布の事業
① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行
ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(2021年6月から2022年5月まで)リーフレット

- ② 「大平正芳記念財団レポート」第40号の発行
- ③ 「硯滴考12号、13号、14号」の発行
- ④ 「大平政治の再発見ー大平政治が今日の改革に示唆するものー」(仮称)の発行
- ⑤ 「1970年代の日中関係の展開と大平外交」(仮称)の発行

(3)HPの更新、FACEBOOKでの広報活動

(4)香川県立観音寺第一高等学校(大平総理母校)
大平杯(仮称) (文化学術優秀チーム表彰)